

令和2年度 東北地区高等学校PTA連合会広報紙コンクール 審査結果 (賞別)

賞	学 校 名	紙名・号数	全国大会
最優秀賞	福島県立川俣高等学校	「川高PTA会報」第101号	*
優 秀 賞	青森県立青森西高等学校	「西高通信」No.286	*
	岩手県立花巻南高等学校	「みなみ風」第135号	*
	宮城県志津川高等学校	「旭桜坂」第108号	*
	宮城県古川黎明高等学校	「きらり」Vol.30	*
	秋田公立美術大学附属高等学院	「エコー」Vol.64	*
	福島県立喜多方桐桜高等学校	「絆」第20号	*
優 良 賞	青森県立八戸商業高等学校	「八商広報」第117号	*
	青森県立八戸水産高等学校	「海響」第36号	
	岩手県立花北青雲高等学校	「花北青雲PTA会報」第101号	*
	宮城県登米高等学校	「to me」第55号	
	秋田県立秋田高等学校	「たかだい」Vol.144	*
	山形県立酒田光陵高等学校	「光陵」第16号	*
	福島県立福島商業高等学校	「志乃ぶ野」第64号	
奨 励 賞	岩手県立盛岡第二高等学校	「盛岡二高PTA通信」 令和2年度第1号	
	秋田令和高等学校	「令和」創刊号	
	山形県立東桜学館高等学校	「桜風」第9号	
	山形県立山形北高等学校	「山形北高PTA会報」第75号	*

\* 全国大会での展示は、各県から2校を推薦することになっています。

\* 表彰は例年東北大会の席上行っていますが、今回については理事会等で検討し、後日お知らせします。

令和2年度 東北地区高等学校PTA連合会広報紙コンクール 審査結果 (県別)

県名	No.	学 校 名	紙名・号数	賞	全国大会
青 森	1	青森県立青森西高等学校	「西高通信」No.286	優 秀 賞	*
	2	青森県立八戸商業高等学校	「八商広報」第117号	優 良 賞	*
	3	青森県立八戸水産高等学校	「海響」第36号	優 良 賞	
岩 手	4	岩手県立花北青雲高等学校	「花北青雲PTA会報」第101号	優 良 賞	*
	5	岩手県立花巻南高等学校	「みなみ風」第135号	優 秀 賞	*
	6	岩手県立盛岡第二高等学校	「盛岡二高PTA通信」 令和2年度第1号	奨 励 賞	
宮 城	7	宮城県志津川高等学校	「旭桜坂」第108号	優 秀 賞	*
	8	宮城県登米高等学校	「to me」第55号	優 良 賞	
	9	宮城県古川黎明高等学校	「きらり」Vol.30	優 秀 賞	*
秋 田	10	秋田県立秋田高等学校	「たかだい」Vol.144	優 良 賞	*
	11	秋田公立美術大学附属高等学院	「エコー」Vol.64	優 秀 賞	*
	12	秋田令和高等学校	「令和」創刊号	奨 励 賞	
山 形	13	山形県立酒田光陵高等学校	「光陵」第16号	優 良 賞	*
	14	山形県立東桜学館高等学校	「桜風」第9号	奨 励 賞	
	15	山形県立山形北高等学校	「山形北高PTA会報」第75号	奨 励 賞	*
福 島	16	福島県立川俣高等学校	「川高PTA会報」第101号	最優秀賞	*
	17	福島県立喜多方桐桜高等学校	「絆」第20号	優 秀 賞	*
	18	福島県立福島商業高等学校	「志乃ぶ野」第64号	優 良 賞	

\* 全国大会での展示は、各県から2校を推薦することになっています。

\* 表彰は例年東北大会の席上行っていますが、今回については理事会等で検討し、後日お知らせします。

## 令和2年度 東北地区高等学校PTA連合会 広報紙コンクール講評（全体）

外部審査委員：福島民報社事業局長 関根英樹

（平成24年度 東北地区高P連会長）

今年度は新型コロナウイルスがもたらしたパンデミックの中で始まった。年度当初から高校の休校が相次ぎ、部活動も制限された。生徒は新たな生活様式の中で高校生活を送らねばならなかった。生徒を見守るPTA活動も、例年とはまるで異なる一年となり、広報誌の発行も前年踏襲ではすまない状況だったろう。しかしながら、今回の広報誌はどれもよくまとめられた素晴らしい内容の紙面ばかりだった。

審査にあたっては、このような環境だからこそ、PTA活動や子ども達を応援したい保護者の思いが伝わってくるか、学校の現状が十分に伝わってくるか、特集などで特色を出しているか、見やすく読みやすいか、を中心に審査した。特にコロナ禍の中で前に向かって歩む高校生達の様子や保護者の思いなど、今年だからこそその内容を評価した。コロナ問題に関する生徒や保護者対称のアンケート等を記事化した紙面はいくつかで見られたが、いずれも興味深く読ませて頂いた。アンケートを記事化する場合は、どう見せるかも問われるところがあり、それぞれの工夫に感心した。

一方、最近の広報誌はかつての新聞形式のように大きな頁にいくつものニュースを入れるのではなく、官公庁の広報誌的な形式になっているものが多い。この場合、扉の頁は中身に興味を誘導するためにとっても重用になってくる。興味を引く写真と共に、見出しや目次も大切だ。上位に入った広報誌は扉の頁が見やすく、分かりやすい物が多いので、参考にしてほしい。

頁立ても重用となる。一つ気になったのは、写真の使い方だ。写真は分かりやすい素材のように思えるが、ただ並べれば良い物ではない。写真はたった一枚で全てを表現できる力があるからこそ、使い方をもっと吟味して欲しい。新聞を見れば分かるが写真説明もとても大事だ。また、写真は漫然と写した物ではなく、目的意識を持って撮影した表情ある写真を使ってほしい。

高校生は次第に自我に目覚め、学校の様子を家庭で話すことも少なくなる場合が多い。また、保護者が学校と関わる機会も次第に少なくなってくる。そんなとき、高校のPTA広報誌は家庭で学校の様子を知るための重要な情報源になる。どんな情報を盛り込み、いかに伝えるか、広報誌作りはかなり大変ではある。しかし、できあがった紙面はその学校の歴史に確実な足跡を残す記録ともなる。子ども達の活動を未来へつなげるために、ぜひ皆さんには頑張ってください。

令和2年度 東北地区高等学校PTA連合会 広報紙コンクール講評（個別）

外部審査委員：福島民報社事業局長 関根英樹

県名	No.	学校名・紙名	講評
青森	1	青森県立青森西高等学校 「西高通信」No.286	各ページとても見やすい。スマホに関するアンケートが面白く、生徒や保護者の声も丁寧に拾ってある。扉のローガンからも思いが伝わる。扉の写真に表情があればなお良い。
	2	青森県立八戸商業高等学校 「八商広報」第117号	扉の写真と見出しは話題性を取り入れており、読み手を引きつける。生徒の表情を伝える写真がふんだんにあり、生徒の活動の様子が伝わる。写真の配置や説明書きを工夫すればさらに良くなる。
	3	青森県立八戸水産高等学校 「海響」第36号	特色ある校内の様子がよくわかる。生徒の活動写真が多いところに保護者の思いが伝わる。もう少し生徒や保護者の声を入れれば、さらに校内の様子が伝わるだろう。
岩手	4	岩手県立花北青雲高等学校 「花北青雲PTA会報」第101号	様々な話題を取り上げ読み応えがある。扉の写真も上手に配置してある。ページ数が多いので、簡単な目次のような物がほしい。また、各写真に説明書きがあれば分かりやすい。
	5	岩手県立花巻南高等学校 「みなみ風」第135号	扉に担任の似顔絵を置き、特集について表記したことで、目を引きつける。特集の文章も読みやすい。表彰と部活動報告の頁は記録として大切なのでもう少し工夫をして欲しい。
	6	岩手県立盛岡第二高等学校 「盛岡二高PTA通信」 令和2年度第1号	生徒達の表情をしっかりと捉えた写真が素晴らしい。保護者の思いが伝わってくる。構成的には見やすいが、生徒のコロナ禍での様子が伝わる特集などあれば良かった。
宮城	7	宮城県志津川高等学校 「旭桜坂」第108号	コロナ禍で通常とは異なる生徒の生活を全面的に取り上げているところが興味深い。扉のコロナ禍ならではの全校集会の様子も目を引く。各先生の詳細な紹介も、このようなきだからこそ大切だろう。最後の川柳も良い。
	8	宮城県登米高等学校 「to me」第55号	クラス紹介が見やすく、各クラスの特徴が出ていて面白い。部活紹介も目を引くつくりになっている。校内売店の話題も保護者にとっては楽しい企画だろう。扉である表紙をイメージ的に使うのはもったいない。
	9	宮城県古川黎明高等学校 「きらり」Vol.30	PTA活動についてのアンケートと保護者進路対策講演会の様子をまとめており、保護者にとって重要な情報をしっかり掲載している。写真を多く使う場合は、説明文を入れることも必要。

秋田	10	秋田県立秋田高等学校 「たかだい」Vol.144	必要な情報がコンパクトにまとまっている。扉の写真も表情がある。コロナ禍での学習情報も保護者にとっては注目する話題だろう。先生紹介はコロナ禍で接点が少ない分、スペースを工夫して現職も紹介しては。
	11	秋田公立美術大学附属高等学院 「エコー」Vol.64	斬新な会報に驚かされる。その上で、生徒の記事に保護者のコメントを付けたり、先生方を丁寧に紹介したりしている企画力にも目を見張る。他校にはない独自の会報として定着しているか知りたいと思った。
	12	秋田令和高等学校 「令和」創刊号	学校の行事と情報がきちんとまとめられており、分かりやすい構成となっている。創刊号であり、今後の指標としての意気込みもうかがえる。新校舎の全体像が分かる見取り図などがあればなお良いかも。
山形	13	山形県立酒田光陵高等学校 「光陵」第16号	生徒の写真と題字が光る扉頁となっている。PTA研修会報告を丁寧に記載し、保護者への発信に努めている点を評価したい。元年三月発行のため、コロナの様子が入っていないのが残念。
	14	山形県立東桜学館高等学校 「桜風」第9号	最終ページに身近な先生からの英文の手紙を配したことは、生徒にとって語学勉強の上でも大切な記録として読まれ、手元に置かれる会報になったはず。基本的なスタイルで、情報が十分に伝わる。
	15	山形県立山形北高等学校 「山形北高PTA会報」第75号	各場面でそれぞれの表情を捉えた写真がとても良い。保護者の声に紙面を割いたことで、保護者の思いが共感できる構成になっている。割り付けをもう少し工夫すればさらに良くなる。
福島	16	福島県立川俣高等学校 「川高PTA会報」第101号	コロナに関するアンケートを分かりやすく配置している構成力が素晴らしい。他の頁の内容も興味深い。レイアウトが単調になりがちなので、もう少し目を引くような工夫がほしい。
	17	福島県立喜多方桐桜高等学校 「絆」第20号	創立10周年の記念号であり、変則的な折り込みの紙面を上手に使っている。ただ、写真の多さが、かえって見にくくなっているようにも思える。レイアウトにもう一工夫必要。
	18	福島県立福島商業高等学校 「志乃ぶ野」第64号	一面に「エール」で話題となった母校の先輩を特集した紙面展開は見事。最終ページのコロナ影響調査もタイムリーな企画だった。少し残念なのは中面の構成で、の企画力を中面でも見せてほしかった。